

どこまでできるか 試してみたい



Profile よしだ・みゆう

平成14年3月30日生まれ。両足に障がいがあるも、高校2年で出会った車いす陸上にのめり込む。11月には大分国際車いすマラソンにも出場予定。趣味は音楽鑑賞。好きな食べ物はスイカ。菊池女子高校3年。上西寺区出身。17歳。

「練習が楽しみでしようがないんです」。笑顔で語りながら、車輪を回す手に力を込める。

脳性まひの一種、脳室周囲白質軟化症のため両足に障がいがあり、子どものころは一人で遊ぶことが多かった。それでもピアノやテニスなど積極的に取り組み、高校進学時には特別支援学校や公立高校ではなく、自ら菊池女子高校を選んだ。「エレベーターがなく大変なこともあるけれど、高校の雰囲気や先生に魅力を感じて進路を決めました」。しっかり者で、同級生からも頼りにされる存在だ。

競技に出会ったのは高校2年の春。体を動かすのが好きなこともあり、車いす陸上にのめり込んだ。同じ目標を持つ仲間もできた。競技を始めて1年で、5月の「くまもと障がい者スポーツ大会車いす100メートル」に初出場し記録も更新した。「新記録はうれしいけれど、自己ベストを出せなかったのは悔しい。もっと練習し、来年は自分の記録を更新したい」

大きな手術を何度も繰り返ししてきた。それでも、自分のことは自分でできるように、7月にはまた手術に臨む。「痛みには強いほうなんです」。そう話す横には笑顔の母・佳寿子さん。自慢の娘が陸上に打ち込む姿に目を細める。「将来の夢はパラリンピック出場。自分を支えてくれる母や車いす陸上の仲間たちのためにも、自分がどこまでできるか試してみたい」。夢への挑戦はまだ始まったばかりだ。

「菊池人」 希望者を募集します

新しいことに挑戦している人、伝統を受け継いでいる人など、菊池で頑張っている人を募集します。本市在住であれば自薦・他薦は問いません。詳しくは市長公室までお問い合わせください。

問い合わせ先

市長公室広報交流係
☎ 0968 (25) 7252

菊池人
73

車いす陸上ランナー

吉田 未悠さん



1_トラック上とは違い、学校ではおしとやかな一面も(右から2人目が未悠さん) 2_初出場で記録を20秒近く更新。「すごく緊張して、ゴールした瞬間に泣いてしまいました」 3_陸上競技場で県車いす陸上競技連盟の仲間と練習に励む